

2 教育計画

校訓 「^{じん} 力 ^{りょく} 必 ^{ひつ} 成 ^{せい}」

(1) めざす児童生徒の姿

- ・社会で生きていくために必要な知識・技能を身に付ける。〈知識・技能〉
- ・自ら考え、行動し、自分の思いや考えを表現する。〈思考力・判断力・表現力〉
- ・自ら学び、仲間と共に高め合える。〈学びに向かう力・人間性〉

(2) 重点 (◇は重点目標、◎は本年度の重点項目)

	重 点
学校経営	<p>◇児童生徒の「命」と「人権」と「学ぶ権利」を守り抜き、安全・安心で愛情に満ちあふれた楽しい学校にする。</p> <p>◇全教職員が、「チーム関特支」として「明るく・楽しく・元気」に協働し、めざす児童生徒の姿を実現する活力ある学校にする。</p> <p>◎個に応じた学びを基盤に、人との関わりや地域とのつながりを生かした授業づくりを推進する。</p> <p>◎地域の人々が学校に集い、共に学び、互いを理解し合う場を広げ、喜びをともにする学校づくりを推進する。</p> <p>◎命を最優先に校内環境を整え、家庭や地域、関係機関と連携した危機管理体制を強化する。</p>
働き方改革	<p>◇教職員が互いに支え合い、安心して教育に向き合いながら、力を発揮し続けられる職場づくりを目指す。</p> <p>◎小規模校において生じやすい業務の偏りを早期に共有し対話と相互理解を基盤に補い合う職員集団作りを進める。</p> <p>◎校務の効率化や役割分担の工夫を継続し、教育活動に向き合う時間を確保する。</p>
研 修	<p>◇幅広い教養と高い専門性をもち、常に学び続ける教師として、協働と省察を通して当事者として学び合い、自律的に教育活動の質を高めようとする姿を目指す。</p> <p>◎行事や授業実践を中核に据えた対話的な研修の場を整備し、教員の個別最適な学びと協働的な学びによる実践的指導力の向上と学び合い文化の醸成を図る。</p> <p>◎ICT活用研修や実務に即した校内研修の場を整備し、教育活動を支える専門的な知識及び技能の向上と実践との往還を図る。</p>
教科指導	<p>◇基礎的な知識・技能の定着を図り、思考力・判断力・表現力及び自ら学び考える力を育成する。</p> <p>◎児童生徒が部や類型、学校を超えて多様な他者との関わりやつながりの中で協働し、自己の課題や役割と向き合うことができる学習の場を設定する。</p> <p>◎ICTの活用拡大と体験的な学習の充実を図るとともに、一人一人の発達段階や障がいの状態に応じた指導内容や指導方法、評価、教材・教具等の工夫改善を行う。</p>
道徳教育	<p>◇温かい人間関係の中で、強く明るく生きようとする意欲を育む。</p> <p>◎自己を見つめる力や規範意識が高まるように、自分の考えや行動を振り返る場面を意図的に設ける。</p> <p>◎日常生活や授業の中で、思いやりや励まし合いなど、心のふれあいを大切にした指導を行う。</p>
特別活動	<p>◇所属感を高め、よりよい生活や望ましい人間関係を築こうとする自主的、実践的な態度を育てる。</p> <p>◎学級活動や児童生徒会、委員会活動等を通して、児童生徒の自ら考え行動する場面を設定し、主体的な活動の充実を図る。</p> <p>◎学校間交流や地域の人々との交流及び共同学習等を通して、児童生徒が多様な人々と関わる機会を広げる。</p>
自立活動	<p>◇自立に向けて、障がいによる学習上又は生活上の困難を主体的に改善・克服しようとする姿を目指す。</p> <p>◎自立活動の6区分27項目に基づく分析と教師間の対話を通して的確な実態把握を行い、一人一人に応じた指導内容や指導方法の工夫・改善を行う。</p> <p>◎児童生徒の教育的ニーズや保護者のニーズを踏まえ、理学・作業療法士や言語聴覚士及び関係機関等と連携して指導の充実を図る。</p>
外国語活動 (小学部)	<p>◇外国語を通して、日本と外国の言語や文化について理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成する。</p> <p>◎外国語を用いてコミュニケーションを図る楽しさを体験できる活動を取り入れ、他者に関わる機会を広げる。</p> <p>◎様々な国の食生活や遊び、習慣、行事等を取り上げることで、我が国と外国の文化の違いに気付き、文化の多様性</p>

	に対する理解が深まるよう指導する。
総合的な学習（探究）の時間	◇よりよく問題を解決しようとする資質や能力を育てる。 ◎学習した知識や技能等を相互に関連付けて問題を解決できるよう、一人一人の障がいの状態に応じた体験的・問題解決的な学習活動の充実を図る。 ○学習の過程や成果を振り返る場を設定し、次の学びにつなげる支援を行う。
生徒指導	◇児童生徒との信頼と愛情、家庭との連携を基盤とし、基本的な生活習慣や望ましい生活態度を身に付け、目標に向かって努力する意思や態度を育む。 ◎児童生徒が自ら考え選択する場面を意図的に設けるとともに、集団の中で役割や責任をもつ経験を積み重ねる指導を行う。 ○一人一人が安心して充実した学校生活を送れるよう、日常の関わりを通して児童生徒の理解を深め、変化や課題を早期に共有しながら全校体制で支援を行う。その際、家庭との情報共有を密にし、共通理解のもとで継続的に支援する。
進路指導	◇自己の在り方、生き方を考え、主体的に選択決定しようとする態度と自立に向けた実践力を育てる。 ◎社会参加・自立を目指して家庭及び地域や福祉・労働等関係機関と連携した進路指導・就労支援体制の充実を図る。 ○「個別の教育支援計画」及び「個別の移行支援計画」を活用し保護者や関係機関と連携して、児童生徒の発達段階に応じたキャリア教育を行う。 ○一人一人の能力を伸ばし、将来の夢や希望の実現に向けて主体的に進路選択ができるよう、積極的な情報提供とそれに基づいた学習等のガイダンスの充実を図る。 ○地域や産業界との協力・連携により進路体験実習を積極的に実施する。
健康教育	◇自ら進んで健康で安全な生活を送る態度を育てる。 ◎健康被害や事故災害の未然防止を目指して、日常の健康管理や医療的ケア、突発的な事故、感染症、災害等、健康・安全に関する事項について、教科領域等を相互に関連付けながら指導する。 ○児童生徒の健康に関する情報について、全職員が確実に共有し引継ぎできる仕組みを整備する。また、保護者や医療との連携を図り、それぞれの役割を明確にしたうえで対応する体制づくりを行う。

（３）各部のめざす児童生徒の姿

各部署	めざす児童生徒の姿
小学部	◇健康に過ごし、基本的な生活習慣と知識を身に付ける。（知識・技能） ◇興味・関心を広げ、自分の思いや考えを表現する。（思考力・判断力・表現力） ◇主体的に物や人に関わり、好きなことを増やし、仲間と楽しく活動できる。（学びに向かう力・人間性）
中学部	◇生活リズムを整えて元気に過ごし、学んだことを生活に生かす力を身に付ける。（知識・技能） ◇見通しや課題意識をもって行動し、自分の思いや考えを表現する。（思考力・判断力・表現力） ◇主体的に物事に取り組み、自分や仲間を大切にできる。（学びに向かう力・人間性）
高等部	◇社会で生きていくために必要な知識・技能を身に付ける。（知識・技能） ◇自ら考え、自分の思いや考えを表現する。（思考力・判断力・表現力） ◇自ら学び、仲間と共に高め合える。（学びに向かう力・人間性）